

第15回「自殺対策推進会議」清水委員 意見

1)「GKB47」というキャンペーンテーマは、撤回すべき

芸能界のブームにあやかろうという意図は分からないわけではないが、広く共感を集めるのは極めて難しいだろう。そもそも、キャンペーンのロゴやキャッチフレーズは継続性が重要。昨年テーマである『いのち支える』を、今年も継続させるべきである。『いのち支える』は「自殺のない社会づくり市区町村会」や「自殺対策全国民間ネットワーク」等の関連イベントでも広く使われるようになってきている。現場で使われるようになってきたものを変更すべきでない。

2)「気づいた後、どうすればいいのか」を強調すべき

コンビニ店員や理容師等、「誰もがゲートキーパーに」という言葉の聞こえは良いが、重要なのは「気づいた後、どうすればいいのか」という情報。仮に、あるコンビニ店員が「気づいた」としたら、どうすればいいのか。そうした情報を強調しないのであれば、極めて無責任な呼び掛けをすることになりかねない。相談窓口の情報や相談機関の検索サイトに関する情報等を前面に打ち出して啓発すべきである。